

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	敬老バス支援事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住の65歳以上の方が20人以上で組織した団体	意図	高齢者の交流の場を広げ、健康で生きがいのある生活を送れるようになる。
事業内容	高齢者団体の視察研修やレクリエーション実施等のためのバスを貸し出すもの。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢者団体の視察研修やレクリエーションの送迎に市が借り上げたバスを利用することで、高齢者の交流の場を広げ、健康で生きがいのある生活を提供する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用回数	233	224	199	回	→→	
②	利用人数	7,437	6,987	6,223	人	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 利用回数、利用人数ともに減少傾向にある。事業の周知のほか、利用希望団体に対しての情報提供や申請書類作成等により支援し、利用しやすい環境を整えていきたい。 また、敬老バス以外にも、福祉目的での障害者団体等への公用貸出（福祉バス）を行っている。福祉バスについては事前に年間利用計画を各担当課から提出させている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,054,704	27,809,002	15,349,237				
事業費(b)(円)		9,249,204	23,110,602	10,734,837				
うち一般財源		9,249,204	23,110,602	10,734,837				
職員給与と費(c)(円)		4,805,500	4,698,400	4,614,400				
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成30年度からは、車両をリースし運転業務は委託する方法に切り替え事業を実施する。	③取組における課題(Check)	大型バス1台をリースし、運転業務を委託することから、リース会社及び運転業務委託業者と緊密に連携し事業を実施する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	平成30年度からは車両をリースし、運行を業務委託することで、事業費を平成28年度以前の水準に迎えつつ同等のサービスを提供した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	苦情や課題、トラブル等が発生した場合には、車両のリース会社、運転業務の委託先と連携をとりながら、迅速・柔軟に対応していく。